**2024年度 中津市立今津中学校部活動方針**

**１．部活動の意義**

（１）生徒の興味関心を引き出しながら活動することによって、成長期にある生徒の心身の向上を図る。

（２）異年齢集団による自治的な活動を基本とし、望ましい人間関係や礼儀・マナー等の社会性が養える。

（３）生徒の特性を伸ばし、自信をつけさせることによって、生き生きとした日常生活や学校内での活動が期待できる。

**２．部活動の基本線**

（１）生徒の主体的な運営による活動を基本とし、明るく元気のよい部活動をめざす。

（２）勝つことを優先するあまり、無理な練習日程を組んだり、生徒に過重な負担をかけたりすることのないように活動内容を工夫する。

（３）それぞれの立場の生徒があることを十分考慮して指導にあたる。

（４）入部にあたっては、生徒の希望をできるだけ優先する。

（５）毎年、入部届けを提出し所属を確認するが、３年間同じ部で活動することを原則とする。転部希望のあるときは、担任、担当者、保護者とよく相談し、教育的配慮の中で判断する。

（６）新１年の希望者数と２,３年生の人数を加えて団体チームとして登録できる人数であれば存続する。登録人数に達しない場合は調整を試みるが、それでも無理な場合は職員会議で存続を考える。（場合によっては、新入生を募集しないなどの措置もある）ただし、種目によっては例外もあり得る。

※【準部】剣道・水泳・（陸上）をしている生徒→総体出場ＯＫ

　【臨時部】相撲・駅伝

（スポーツ振興センター適用可）

（７）新規創設の部については認めないが、場合によっては、職員会議で話し合い、検討する場合もある。

**３．部活動経営の方針**

 （１）活動の時間は、平日２時間、休日３時間とする。夏期（４月～10月）19：00、冬期（11月～３月）18：00を完全下校時間（校門を出る）とし、15分前には片づけを始める。

（２）内容的には学校教育活動の範囲内で行う。

 （３）技術指導はもちろん、生活指導、精神面の指導も合わせて行う。

 （４）学校生活が基本であることを押さえ、休日の活動や試合等でも学校のルールに準じ、活動を行う。

（５）大会、試合参加の予告、結果の発表の場をつくり、意欲を高め、励まし合い、勝敗にこだわらず、努力したことをチーム内や学級で認め合うようにする。

（掲示板・通信・全校集会等）

 （６）生徒自身が、学校生活と部活動をきちんと結びつけた行動がとれるように指導を行う。部活動で見られる生き生きとした姿・頑張りやハツラツとした行動やあいさつを、学校生活でも発揮させる。

（７）体調不良のため授業に出ず保健室で休んだり、保健体育を見学したりした生徒は体調を整えることを最優先し部活動は欠席もしくは見学させることが望ましい。

**４．教職員の立場**

 （１）技術指導できる専門家はほとんどいない。

 （２）校務分掌により会議や出張が多く、また、家庭の都合等で全員がそろって指導できる体制にはない。

 （３）保護者とも連携を図る中で部活動経営の方針、教職員の立場を十分理解してもらい、よりよい運営をめざす。

○活動時間の確認

・活動日、休養日を明確にする。

・週２回の休みを徹底する（土日に１日、普通日に１日を原則とする）。

　　　　　→土日に大会参加がある場合は、平日に変わりの休みを設定する。

　　　　　→土日の休み設定日に練習試合を入れない。

・放課後の開始時間と終了時間の徹底（キャプテンとの連絡を密に）

・顧問が部活に出られないときは、休みにすることが望ましいが、それぞれの部の状況に応じて行うこともある。その際は、キャプテンに練習メニューを渡すなど必要な対応を行う。（ただし、顧問が出張等でいないときは原則禁止）

・練習場所、部室、更衣場所から下校するまで確認する。

・終了時間によっては、保護者の協力を依頼する。

・自転車指導（ルール、マナー、ヘルメット）の徹底。部活動生はヘルメット・ステッカーを購入する。

※自転車の駐輪場所は駐輪場とする。野球・ソフトテニスは１学期はピロティへ駐輪する。

・定期テスト前３日間は、原則休みとする。

各部の顧問に任される部分が大半を占めている。多くの教職員でかかわり、生徒たちのよりよい活動環境をめざす。部員数と施設のアンバランスがもたらす問題と保護者、生徒の部活動に対する認識不足によるトラブルが発生することもある。教職員と生徒、保護者との話し合いの機会をなるべく持ち、三位一体で部活動が成り立っていることを理解してもらう。

○部活動生集会：４月３０日(火)放課後に行う。